

教育行政報告

最近の教育行政について報告いたします。

○児童生徒の学力の向上とたくましい心と体の育成について

今年度、本市全体では、昨年度よりも8人多い149人の新入学児童を迎え、新学年が始まっております。

これにより、全児童生徒数は、現在1,494人であります。

今年度の学校教育目標は、「夢をもち、心豊かで、元気な子どもの育成」とし、「活かす力」を育む学校教育を引き続き推進して参ります。昨年度までと同様に、「よりよく生きるための基礎となる力」である知識・技能の確実な習得を土台としながら、応用・発展させる力である「活かす力」を身に付けていきたいと考えております。

とりわけ、今年度は主体的に学習に取り組む態度の向上に更に力を入れ、将来のにかほ市を担う人材の育成に取り組んで参ります。

そのために、昨年度整備した1人1台端末を授業などで積極的に活用していきます。院内小学校を本市のGIGAスクール構想推進モデル校に指定し、効果的な活用を研究して参ります。静止画や動画の撮影、インターネット検索、学習ソフトの活用などにより、より魅力的な授業づくりが期待されます。この取組を行う際には、仁賀保高等学校やTDK歴史みらい館等の関係機関とも連携しながら実践を重ねていきたいと考えております。

また、本市独自で、教育指導員やさまざまな支援員を雇用し、きめ細かな指導を行うことで、より分かりやすい授業を目指して参ります。

さらには、ふるさとの自然や歴史、伝統文化、産業等を生かした「にかほ地域学」を充実させることで、ふるさとにかかわる教育を推進して参ります。その際には、保護者や地域住民の力を学校教育に取り込み、コミュニティ・スクールとしての機能も活用しながら、地域とともにある学校の更なる充実に努めて参ります。

なお、昨年度はコロナにより事業が中止となってしまいましたが、今年度も秋田県教育委員会から「いのちの教育あったかエリア事業」の指定を受け、金浦小・中学校において、「特別の教科 道徳」の充実を目指した研究を進めて参ります。市内の他の小中学校も巻き込みながら、児童生徒の道徳的な判断力や実践力を高めていくよう指導して参ります。

○児童生徒による各種大会等の結果について

4月24日と25日に開催された本荘由利中学校春季大会では、仁賀保中学校サッカー部、仁賀保中学校柔道個人の2人、そして、象潟中学校女子ソフトテニス個人ペアが見事優勝しております。

また、5月20日に開催された本荘由利中学校陸上競技大会では、仁賀保中学校が男女とも総合で優勝を果たし、学校総合でも優勝に輝いております。個人種目では、仁賀保中学校が5種目で、象潟中学校が4種目で優勝しております。

コロナ禍ではありますが、子どもたちはとても見事な活躍を見せていております。

○池田修三木版画展「春のメロディー」の開催について

4月29日から5月2日まで、象潟公会堂を会場に池田修三氏の木版画展「春のメロディー」を開催いたしました。コロナ禍での開催となったため、予定していたコンサートは中止しましたが、池田修三氏の作品をイメージした曲と一緒に作品をご覧いただくことができました。感染症対策を万全にして実施し、期間中は市内外から420人が来場し盛況となりました。

今後も、象潟郷土資料館での常設展や、秋に予定している「まちびと美術館」などで池田修三氏の版画の世界をPRしていきたいと考えております。